

カキ新品種「つきまる」の都内における品種特性

荒井那由他・杉田交啓

(園芸技術科)

【要 約】 2022 年に品種登録出願公表されたカキ「つきまる」は、やや早生の完全甘ガキで、「松本早生富有，富有」より早い，10 月下旬に収穫が可能である。「富有」と比較して，大果で果肉がやや軟らかく，「富有」並みの糖度である。

【目 的】

カキ第 8 回育成系統適応性検定試験・特性検定試験（以下：系統適応性試験）で検討された（国研）農研機構果樹茶業研究部門育成「つきまる」（系統名「安芸津 26 号」）が，2022 年 9 月 29 日に品種登録出願公表された。この品種の都内における品種特性を明らかにし，都内への新品種導入にあたっての基礎資料とする。

【方 法】

2015 年に高接ぎを行った 2 樹について特性調査を行った（2019～2021 年）。対照品種は「松本早生富有，富有」（成木：樹齢 20 年生以上）1 樹ずつとした。調査項目および調査方法は，系統適応性試験調査方法に準じて行った。

【成果の概要】

1. 「つきまる」（交雑年：2003 年）は「太月」×「甘秋」である（図 1）。
2. 「つきまる」の樹勢，展葉期，開花期は，「松本早生富有」，「富有」と同程度だった（表 1）。雌花の着生は「多」で，「富有」並みだった。「つきまる」は早期落果，後期落果が確認されなかった。
3. 収穫始は，10 月 20 日で「松本早生富有」よりも 4 日，「富有」よりも 15 日早い（表 2）。果実重は 304.0 g で「松本早生富有」，「富有」より大きかった。果皮色は，「富有」よりも赤みが少なく，「松本早生富有」に近い色だった。糖度は「松本早生富有，富有」並み，果肉硬度は 1.0 で「松本早生富有，富有」よりやや軟らかかった。含核数は 4.7 で「松本早生富有，富有」よりもやや多かった。
4. 生理障害は，果頂裂果が 4.4%，へたすき小が 7.7%，汚損果が 2.6%とそれぞれわずか発生したが，「松本早生富有，富有」と比較して生理障害発生率は低かった（表 3）。

【残された課題・成果の活用・留意点】

本成果は高接ぎ樹，5～7 年生の果実特性である。

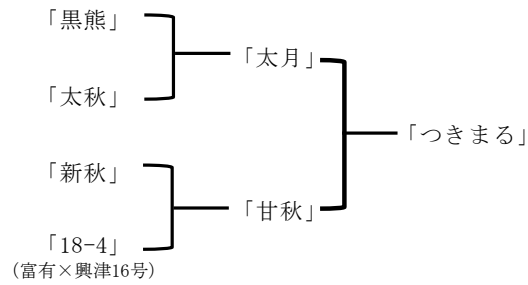


図1 「つきまる」の育成経過

表1 「つきまる」の樹勢、開花期および結実性 (2019~2021年)

品種	樹勢	展葉期 (月/日)	雌花開花期 (月/日)			雌花の着生	早期 落果	後期 落果
			始	盛	終			
つきまる	中	4/5	5/15	5/18	5/20	多	なし	なし
松本早生富有	中	4/3	5/16	5/19	5/21	中	少	なし
富有	中	4/3	5/15	5/17	5/20	多	少	なし

注) 平年値 (2019~2021年)

表2 「つきまる」の果実特性 (2019~2021年)

品種	収穫期 (月/日)			果実重 (g)	玉揃い	果皮色			糖度 (%)	果肉硬度 (kg)	含核数
	始	盛	終			果頂	赤道	果底			
つきまる	10/20	10/29	10/29	304.0	良	5.4	5.0	5.1	16.8	1.0	4.7
松本早生富有	10/24	10/31	11/4	227.5	やや不良-中	4.9	5.0	5.2	16.6	1.7	3.8
富有	11/4	11/11	11/15	260.1	中-良	5.2	5.6	6.1	17.0	1.4	3.8

注) 平年値 (2019~2021年)

表3 「つきまる」の果実生理障害 (2019~2021年)

品種	果頂 裂果 (%)	へたすき (%)		汚損果 (%)
		小	大	
つきまる	4.4	7.7	0.0	2.6
松本早生富有	0.0	15.4	6.7	20.2
富有	14.5	33.6	0.0	12.4

注) 平年値 (2019~2021年)